

Hm²助成支援団体のご紹介

明田フォトプロジェクト

代表 ^{もりなが えりこ} 森永 恵利子さん

戦後復興の記録を60年以上にわたり撮り続けた写真家明田弘司氏(平成27年に92歳で死去)。目まぐるしい速さで整備されていく街並みや人々の生活の様子、日常の何気ない風景、子どもたちの笑顔、遺されたこれらの貴重な記録は4万8千点を超えます。明田氏の意志を受け継ぎ、後の世代に伝える「明田フォトプロジェクト」は代表を務める明田氏の二女森永恵利子さんをはじめ、明田氏の写真に魅了された3人で活動しています。

平成26年にフィルムからデータ化された約3万8千点が広島市公文書館へ寄託。しかし「活用されなければ意味がない。明田さんが撮り続けた貴重な記録が埋もれてしまわないように引き継ぐことが、明田さんの写真に出会えた私たちの役目」と話すメンバーのひとり、梅森さん。「多くの人の目に触れてこそ意味があり、明田さんの写真もいかされる」と言います。

時空と言葉をを超えて伝える 先人たちの生き抜いた道

写真は、広島市や民間企業、学校などから依頼を受け貸し出しを行っており、広島を蘇らせた先人たちの足取りを伝承しています。広島戦後復興を記録した明田氏の写真は、被爆後の道のりを語るうえで欠かせない存在。これまでどこかで目にしたことがある写真もきっとあるはず。「いま私たちが何気なく通っ

ている道や見慣れた街並みは、原爆投下の翌日から立ち上がり、魂を注ぎ復興に努めた先人たちがいたからこそ。その事実を受けとめると、いままでの風景も違って見えてくる。その感覚を後の世代に繋げていきたい」それがメンバーの想いです。

「写真展などの依頼で写真を選別する時には、『明田さんが笑顔になってくれるのはどれかな』という感覚で選んでいます。人を撮るのが大好きで、子どもたちの最高の笑顔を引き出した明田さん。明田さんの想いのこもった写真を皆さんにも見てもらいたい」と思いを馳せる皆さん。今後は写真集の発行を目指し、作品の整理を行っています。「原爆投下から75年は草木も生えぬ」と言われた広島。時空と言葉を越えた広島戦後復興の記録がここにはありました。



▲広島駅の朝 新聞売り(昭和31年2月)



▲長寿園の花見(昭和31年4月)

広島なずなの会

代表 ^{こばやし とよはる} 小林 豊治さん

無農薬・無化学肥料の野菜作りを通して、草・虫・菌の大切さ、土の尊さによる循環農法の考え方を理解し、土に触れる環境で野菜作りを実践することを目的に、平成21年に「広島なずなの会」は設立しました。

昭和61年に大分県臼杵市で無農薬・無化学肥料の「循環農法」で農業を営む赤峰勝人さんが発足させた「なずなの会」は、赤峰さんが全国で講演会を開き広がりました。広島では、平成21年に前代表で現会長の森山照子さんが群馬県軽井沢で赤峰さんの講演会に参加しその主旨に賛同。広島でも多くの人に伝えたいと思い「広島なずなの会」を設立させました。その後、10年に渡って、毎年150人ほどが参加する赤峰さんの講演会を開催すると共に、安芸高田市高宮町の畑を借りて、大根、ネギ、カボチャ、サツマイモなどを循環農法で作っていました。

無農薬・無化学肥料栽培の野菜作りを通して、 世代を超えた交流と安心して暮らせるまちづくりを

令和2年、森山照子さんから小林豊治さんに代表を引き継ぎましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり講演会の実施が難しくなりました。そこで家庭菜園に生かせる学び・実践・共有で成果を得ることを目標に掲げ、西区己斐上にある

市民農園の一角を借り「なずな菜園」と名付け、循環農法による野菜作りを主体とする活動に移行。夏野菜、秋野菜など年間30~40種類の野菜を作っています。「毎月、定期的に会員が集まって種まき、苗植え、草取り、追肥など季節の野菜作りをしています。会員は高齢化しており、次世代へつなげるためにも、子どもたちに野菜作りを体験してもらうなど、イベントも予定しています」と代表の小林さん。他にも、平成21年から広島市で開かれている「食と農の映画祭」をサポートするなど、今後は、気軽に循環農法に触れてもらうために菜園以外でも自宅でもできるプランター菜園の可能性も探っています。



▲なずな菜園収穫祭の様子(令和3年11月)

「コロナ禍、実際に土に触れる機会を体験することは、人々が抱えるストレスを和らげる絶好のチャンスだと思います。安全で美味しい野菜作りを通して交流を持つことが、会の成長にも繋がるのではと考えています」。農業を通して世代を超えた交流を図り、安心して暮らせるまちづくりを目指している皆さんの活動は、これからますます必要とされると感じました。

特定非営利活動法人広島市要約筆記サークルおりづる

理事長 ^{こにし ひろゆき} 小西 博之さん

昭和58年に誕生した「広島市要約筆記サークルおりづる」は、聴覚に障害を持つ人に文字で情報を伝えるボランティア団体で、創立当時の会員はわずか14人。地道な活動を続け平成27年に特定非営利活動法人として新たにスタートし、現在、広島市内8支部、117人の会員で、広島市で開催される会議や大会をはじめ、各種行事の場で活動しています。



▲イベントでの要約筆記をする様子

聴覚障害者のなかでも事故などにより、人生の途中で聴力を失った中途失聴・難聴者は手話の理解が難しく、日常生活において大変な困難を強いられているのが現状です。そんな方々に要約筆記によるコミュニケーション支援を行い、共にハンディキャップに寄り添う活動は、人と人をつないでいく取り組み。「要約筆記は地味な活動で知名度も高くはないけれど、これからの社会になくてはならない活動であり、その需要は増えつつあります」と話すのは副理事長の島田兵二さん。

文字で伝えるコミュニケーション支援 「理解」できることで世界が広がる

学校での授業講演、技術や資格取得のための講義講習の

要約筆記、日本映画や政見放送の字幕つけなどのほか、各区の文化祭、シンポジウムなどや旅行、キャンプなどにも企画から参加。「聞こえ方」がどうあるべきか?どうやったら正しく伝わるか?など視点を変えることも必要となるため、事前学習も重要となります。

「話し言葉と書き言葉は微妙にニュアンスが変わってきます」と話す副会長の島田さん。活動するボランティアスタッフは広島市主催の要約筆記者養成講座を修了し、資格試験に合格したスペシャリストですが、大切なのは心でつながるイメージを持つことで、「おりづるの会員は、これまでの経験が財産になっています。聞こえないから分からない、それで家に閉じこもってしまう、というのはとても悲しいこと。要約筆記があるのならば行ってみようかな、と行動するきっかけになってもらえることが私たちの喜びです」と言います。



▲要約筆記ボランティア養成講座の様子

そんな要約筆記が必要な人に届くよう、ボランティア入門講座も支部ごとに定期的に開催しています。聴覚障害について理解を深めるとともに、要約筆記の重要性を認識し、共に活動してくれるスタッフをまだまだ募集中。「書いて伝える」という情報伝達手段の要約筆記を学んでみませんか?

団地の法面を彩る会

代表 ^{はまちと や え こ} 浜元 八重子さん

昭和40年代後半に造成され誕生した安佐北区高陽ニュータウンの亀崎小学校区。団地造成時に造られた30度の法面に沿った部分には細長い平地があり、その空地为季節の草花で飾り、斜面は下草を刈って里山風の景観を作るために令和2年3月に「団地の法面を彩る会」は発足しました。



▲芋掘り会の様子

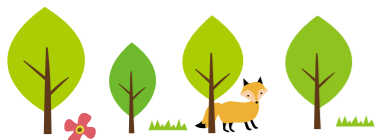
ももとは、この法面に生い茂った雑草を近隣住民が刈り取る姿を見た亀崎小学校区桜自治会の有志およそ10人が手伝い始めたことがきっかけです。法面の上部、団地内の道路に隣接する約120mの平地は、地域の小・中学生の通学路であると同時に、近隣住民の格好の散歩コースにもなっています。そこで雑草を刈り取り、花を植えて住民の癒しの空間をつくることにしました。そこで真亀公民館で花づくりを題材にした活動を行っていた代表の浜元八重子さんが、その知識と経験をアドバイス実施。「通常は野放しになりがちに空間に、四季折々の草花を植え、華やかになった風景に住民たちの見栄も変わって、住民同士の交流も深まっています」と代表の浜元さんは話します。

活動はそれぞれの自主性 気軽な取り組みが地域住民の新たな交流に

活動は、特定の日時に集まるのではなく、あくまで会員それぞれが自身の都合に合わせて活動。購入した花の種・苗や堆肥を使って、整えています。植えた花には、名札を付け花の種類が分かるようにしています。また切り花展示は、住民に自由に持って帰ってもらい和んでもらう取り組みも行っています。「一番のやりがいは、『きれいに咲いていますね』と声を掛けてもらうこと」と浜元さん。

11月には、地域の方に楽しんでもらおうと思い育てたサツマイモで「芋掘り会」を開催。子どもがいる家庭を中心に近隣住民に呼びかけたところ、想像以上の親子連れが参加。掘ったサツマイモを使った焼き芋、芋づるかき揚げを振る舞い賑わったそうです。「普段はなかなか顔を合わすことのない住民同士の交流にも繋がり、地域活動の活性化にも役立っています」。

「今後は、地域の子もたちと一緒に花を育てたり、昆虫採集をする学習体験なども考えています。少子高齢化が進む団地内の世代を超えた新たな交流になればいいですね」と浜元さん。色とりどりの季節の花がもたらす、さまざまな相乗効果に今後も期待が膨らみます。



情報の森



催しの変更などに関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策のため、今後、掲載している催しなどの開催状況(内容・定員など)が変更や中止になる場合があります。詳しい開催状況は、主催者ホームページをご確認いただくか、主催者までお問い合わせください。

生涯学習

シティカレッジ

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に生かすことを目的に、学習機会を提供します。

会場 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)

受講料 無料

申込方法 (1)電話またはファクスにより①希望講座名または大学名②氏名(ふりがな)③住所④連絡先(電話番号、ファクス番号)をご連絡ください。先着順により定員になり次第締め切ります。※各講座とも全回参加が前提です。※郵送(はがき等)による受付は行っていません。(2)受付時間:月～金(祝日を除く)午前8時半から午後5時15分まで。土曜日・日曜日・祝日は閉所しています(来所の場合は午前9時半から)。(3)申込開始日まではお受けできませんので、下記の表「申込開始日」をご確認ください。

申込・問合せ (公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係 730-0036 中区袋町6番36号 ☎082-541-5335 082-541-5611

[シティカレッジ]

広島女学院大学	講座名	誰一人取り残されない社会へ (Towards a Society Where No One Is Left Behind) ～多分野におけるSDGsの展開
	内容	・SDGs入門 ・SDGsとICT 他
	日時	5/12, 5/19, 5/26, 6/2 木曜(全4回)18:00～19:30
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 30人
	申込開始日	4月15日

安田女子大学	講座名	日常のストレスについて心理学から考える
	内容	・感情をコントロールして心を健康に ・「上手な」話のきき方とは 他
	日時	5/21 土曜(全3回) ①10:30～12:00 ②13:00～14:30 ③14:40～16:10
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 30人
	申込開始日	4月15日
広島国際大学	講座名	中年期の発達心理学
	内容	・中年期の危機と発達 ・中年期における自己実現 他
	日時	①②7/9, ③④7/16 土曜(全4回) ①13:00～14:45 ②15:00～16:45 ③13:00～14:45 ④15:00～16:45
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 30人
	申込開始日	6月1日
広島文化学園大学	講座名	夏休みの宿題を乗り越えるための パパママ講座
	内容	・社会科教室 ・国語科教室 ・算数教室
	日時	8/3(水), 8/4(木), 8/5(金) (全3回)18:00～19:30
	対象・定員	社会人 30人
	申込開始日	7月1日
広島文教大学	講座名	広島市の昔と今
	内容	・瀬山陽と広島袋町 ・食とスポーツと広島経済 ・(平和都市)への助走 他
	日時	8/20, 8/27, 9/3, 9/10 土曜(全4回)10:00～11:30
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 30人
	申込開始日	7月1日
近畿大学工学部	講座名	絵画をめぐる短編小説を英語で読もう
	内容	・S. King, "The Music Room" ・L. Block, "Autumn at the Automat"
	日時	8/20, 8/27, 9/3 土曜(全3回)14:00～16:30
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 30人
	申込開始日	7月1日

リカレント講座

大学などの高等教育機関と連携して、市民の皆様にご高度で専門的な学習機会を提供する公開講座です。

広島経済大学との連携講座「近現代における広島の諸相」

令和4年度リカレント講座は、昨年度に引き続き、近現代における広島の特色をあらわす諸相についてお話しいたします。具体的には、明治維新期

の「武一騒動」、大正期の芦田川洪水、広島に関連する加藤友三郎とフロイド・シュモー、広島県を含む満州開拓団などをテーマとしてとりあげます。

1回	日時	8月2日(火) 18:00～20:00
	テーマ	明治維新时期における「武一騒動」
	講師	濱田 敏彦(広島経済大学 教授)
2回	日時	8月9日(火) 18:00～20:00
	テーマ	大正期の芦田川洪水と救済
	講師	平下 義記(広島経済大学 准教授)
3回	日時	8月17日(水) 18:00～20:00
	テーマ	広島と平和 (加藤友三郎とフロイド・シュモー)
	講師	田中 泉(広島経済大学 教授)
4回	日時	8月24日(水) 18:00～20:00
	テーマ	戦前期における日本の満州開拓と広島
	講師	寺本 康俊(広島経済大学 教授)

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟5階研修室 AB

定員 60人(定員を超える場合は抽選)
受講料 2,000円

対象 広島市内に在住かつ通勤・通学の方

申込方法 6月1日(水)から申込受付開始。申込開始日以前は受付できません。はがき(1人1枚)に①講座名②住所③氏名(ふりがな)④電話番号を記載のうえ、下記宛先へお送りください。[宛先](公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課「リカレント講座(広島経済大学)」係 〒730-0036 中区袋町6番36号

申込締切 6月30日(木)【必着】
問合せ (公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係 ☎082-541-5335

イベント

広島ジュニアマリンバアンサンブルコンサート Vol.31

幼稚園から高校生まで約15名の子供達が「世界中の平和を願って」精一杯演奏します。クラシックや洋楽、懐かしい日本の歌、和太鼓やダンスを取り入れた明るく元気な曲など、小さなお子様からご年配の方まで皆様が見て

聴いて楽しんでもらえるプログラムです。総勢約60名による大人のマリンバオーケストラもお楽しみ下さい。

日時 7月24日(日) 開演:【昼の部】午後1時、【夜の部】午後5時

場所 広島県民文化センター ホール

入場料 前売券1,000円(当日券1,200円) 全席自由席

※未就学児はチケット不要

チケット販売開始 5月15日(日)
チケット取り扱い エディオン広島本店 プレイガイド、広島県民文化センターフロント、ウッドワンさくらびあ事務室

問合せ 広島ジュニアマリンバアンサンブル主宰 浅田 ☎082-271-1477
<http://marimba.hiroshima.jp/>



船越誰故草まつり

旧船越町の町花「誰故草(タレユエソウ)」の見頃に合わせて、誰故草の展示を行います。誰故草保存会の会員が大切に育てた誰故草をご覧に、ぜひ船越公民館までお越しください。

今年は、誰故草の絵画の展示や誰故草コンサートなどを実施して船越誰故草まつりを彩ります。

日時 4月2日(土)～4月17日(日) 午前8時半～午後10時

入場料 無料

内容 ・誰故草の展示
・誰故草の絵画の展示
・誰故草の作品展示～誰故の花・誰故草をモチーフにした園児たちの作品～
・折り紙の誰故草を作ってみんなで誰故草を咲かせようパネル展
・紙芝居やコーラスなどのコンサート

《要申込》
①誰故草コンサート

日時 4月9日(土) 午後1時半～3時
定員 50人

②誰故草の育て方講座
日時 未定※日時については船越公

民館ホームページや船越公民館だより4月号(3月25日発行)でご確認ください。

定員 15人
※①・②共通項目

対象 どなたでも

参加費 無料

申込方法 電話または窓口(先着順)

主催 船越誰故草保存会、安芸区役所、広島市船越公民館

開催場所・申込・問合せ 広島市船越公民館(安芸区船越五丁目22番23号)

☎082-823-4261

拓郎フェスティバル in 広島

広島を音楽人生の原点とし、日本のシンガーソングライターの草分け的存在となった吉田拓郎氏をリスペクトし、拓郎フェスティバル実行委員会が全国から拓郎氏をこよなく愛するアマチュアミュージシャンを募り、ライブを開催します。

日時 7月16日(土)・17日(日)
開場:午前10時 開演:午前11時

場所 広島市青少年センター ホール

入場料 無料(全席自由席)

定員 各日600人(当日先着順)

主催 拓郎フェスティバル実行委員会、広島市青少年センター

申込・問合せ 広島市青少年センター(広島市中区基町5番61号)

☎082-228-0447 082-228-7074

三滝少年自然の家からのお知らせ

①サマーキャンプ
少年を対象に野外炊飯や自然散策、集団宿泊体験など普段できない経験をする場を提供する。

日にち 第1回:6月4日(土)～5日(日)
第2回:7月2日(土)～3日(日)

定員 各20人(定員を超える場合は抽選)

対象 小学校3～6年生

参加費 2,000円(保険料、食費、資料代など)

申込 事業名、住所、電話番号、名前とふりがな、性別、年齢、学年、保護者のお名前を記入し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛先を記入)を同封して、下記共通項目申込先まで郵送

申込受付期間 第1回:4月1日(金)～4月15日(金) 必着

第2回:5月1日(日)～5月15日(日) 必着



②やってみよう!はじめてのキャンプボランティア

レクリエーション、自然観察など自然体験活動ボランティア活動に関わる様々な講義や実技をとらしてボランティアへの意欲・関心を高めるとともに必要な技能の育成を図る。

日にち ①5月21日(土)～5月22日(日)

②6月11日(土)～6月12日(日)

③7月2日(土)～7月3日(日)
《全3回》

内容 ①レクリエーション、星空観察など

②自然観察、野外炊飯など

③サマーキャンプボランティア実習

定員 15人(定員を超える場合は抽選)

対象 大学生(18歳以上)

参加費 ①1,200円②1,800円③1,500円(食費、保険料等)

申込 事業名、住所、電話番号、名前とふりがな、性別、年齢について、下記共通項目申込先までメールまたは電話

申込受付期間 4月1日(金)～4月30日(土) 必着

③三滝キッズレンジャー

～みんなでつくりよう未来の森～

三滝の里山である当施設のフィールドを活用し、自然観察、クラフト、そして森林の整備などの活動を通して、環境問題に関心を持ち、自主的・積極的に環境保全活動に取り組む態度を育成する。併せて、持続可能な社会(地域)づくりの担い手として必要な基礎的な知識や能力、態度を身に付けさせる。

日にち ①5月14日(土)～15日(日)
②10月15日(土)

内容 自然観察や森のクラフト、森の手入れ体験など

定員 30名(定員を超える場合は抽選)

対象 小学校3～6年生
※原則として2回とも参加できる人

参加費 ①2,000円(食費、保険料、資料代など) ②50円程度(保険料、資料代など)

申込 事業名、住所、電話番号、名前とふりがな、性別、年齢、学年、保護者のお名前を記入し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛先を記入)を同封して、下記共通項目申込先まで郵送

申込受付期間 4月1日(金)～4月15日(金) 必着

共催 もりメイト倶楽部 Hiroshima
④三滝防災キャンプ

自然災害への対応や野外での体験活動を通して他の家族との交流を図るとともに、家族の絆を深める機会を提供する。

日にち 6月18日(土)～19日(日)

定員 8家族(定員を超える場合は抽選)

対象 小学生以上の子どもとその保護者

参加費 2,000円(保険料、食費、資料代など)

申込 事業名、住所、電話番号、家族全員の名前とふりがな、性別、年齢、児童生徒は学年を記入し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛先を記入)を同封して、下記共通項目申込先まで郵送

申込受付期間 5月1日(日)～5月15日(日) 必着

※①～④共通項目

場所・申込・問合せ 広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター
〒733-0802 西区三滝本町一丁目73番地の20 ☎082-238-6301

MAIL mitaki-c@cf.city.hiroshima.jp

助成

(公財) 広島市文化財団 令和4年度下期文化活動助成事業

広島市内で文化活動している団体又は個人が、広島市内で行う文化活動の成果を発表する事業に要する経費の一部を助成します。

対象団体 ①文化活動の場が主として広島市内であること②個人又は団体の構成員及び出演者・出品者の5割以上が、広島市内に居住又は通勤・通学していること③団体の事務局の所在地又は連絡先が広島市内にあること④目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項についての定めがあること⑤国・地方公共団体・企業等が、資本金

基本金その他これらに準ずるものを出資した法人でないこと⑥非営利団体であること

対象となる事業 音楽、美術、演劇、民俗芸能等の文化活動を行っている団体又は個人が行う日頃の活動の成果を発表する事業(出版物の発行及び学校行事は除く)で、次に掲げる要件に該当するもの①事業が広島市内で開催され、広く市民に公開されること②非営利の事業であること③政治又は宗教活動に関わりがない事業であること

対象事業の実施期間 令和4年10月1日～令和5年3月31日

助成の額 助成の対象となる経費の2分の1以内で、20万円を限度とします。

申込方法 所定の助成金交付申請書に記入の上、必要書類を揃えて提出してください。

※詳細は下記ホームページをご覧ください。

受付期間 6月1日(水)～6月30日(木) 午後5時必着
※持参の場合は月～金の午前9時～午後5時まで受付。

申込・問合せ (公財) 広島市文化財団企画事業課
〒730-0812 広島市中区加古町4番17号 ☎082-244-0750 ☎082-245-0246

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/>

お知らせ

市民文芸作品集「文芸ひろしま」 第32号を発刊しました

広島市文化財団では、広島市内に在住・通勤・通学のみなさんから公募した「第32回市民文芸」作品募集の入賞・入選作品集、「文芸ひろしま」第32号を刊行しました。

一般の部・ジュニアの部(小・中学生)あわせて4,614点の応募作の中から選り抜かれた460点を、詩、短歌、俳句、川柳、小説・シナリオ、エッセイ、児童文学等の部門ごとに掲載しています。

作品のテーマは、家族や身近な人との出来事や心にしまっていた体験を綴るもの、新型コロナウイルス感染症がもたらした生活の変化、自然や生命への畏怖・敬意や感謝など様々で、作者の思いや感性が豊かな言葉で表現された読み応えある1冊です。

ぜひ手に取ってお読みください。

内容 「第32回市民文芸」作品募集の入賞・入選作品及び審査講評、顕著に活動する広島市の文芸団体を部門ごとにまとめた一覧表

閲覧・入手方法 広島市内の図書館や公民館等でご覧いただけるほか、一部書店で販売しています。[A5判518頁1,000円(税込)]

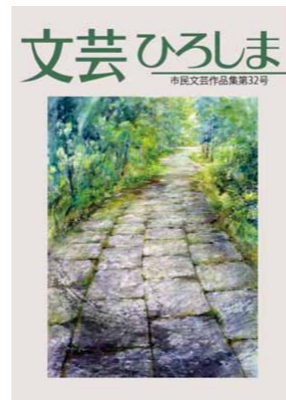
【販売場所】 紀伊國屋書店/フタバ図書/廣文館/啓文社/ホリデイ書店/JMSアステールプラザ1階情報交流ラウンジ/(公財)広島市文化財団事務局(郵送販売)

問合せ (公財) 広島市文化財団企画事業課「文芸ひろしま」係
〒730-0812 広島市中区加古町4番17号 JMSアステールプラザ内
☎082-244-0750 ☎082-245-0246

MAIL bunka@cf.city.hiroshima.jp

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/>

※土・日・祝日はお休みです。



▲当プラザ4階事務室でも閲覧できます!

プラザ主催事業のご案内

余暇楽し人(タノシビト)への あそびCafe

相談員のみなさんから余暇活用のためのお話を聞いて、余暇をあなたらしく生かす方法を一緒に考えてみませんか? 希望者には余暇についての個別相談を行います。

日時 4月16日(土)、5月21日(土)、6月18日(土)、7月16日(土)
いずれも午後2時～3時

※開場は午後1時50分

定員 15人(先着順)

申込開始日 各月1日から受付開始

場所 合人社ウエンディひと・まち

プラザ(まちづくり市民交流プラザ)

相談員 余暇開発士、生きがい情報士、介護福祉士、心理相談員など

令和4年度各種パソコン講座

ワードやエクセル、画像加工など、今年度も幅広いテーマで実施します。

申込方法 往復はがき、ファクスまたはメール(m-plaza@cf.city.hiroshima.jp)で講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・ファクスでお申込みの方はファクス番号を記入のうえ申込期間内に合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)へお申込みください。

※電話による受付は行っていません。

定員 各講座20人

※申込多数の場合は抽選

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

講座名	①すぐに使えるワード講座
日時	5/13、5/27、6/10、6/24、7/8 隔週金曜(全5回) 10:00～12:00
内容	文字書式や段落書式、表の作成などWordの基本的な機能
対象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受講料	5,500円(テキスト代込み)
申込期間	4月30日(必着)
講座名	②すぐに使えるエクセル講座
日時	5/13、5/27、6/10、6/24、7/8 隔週金曜(全5回) 13:30～15:30
内容	テーブルの設定、便利な関数の使い方などExcelの基本的な機能
対象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受講料	5,500円(テキスト代込み)
申込期間	4月30日(必着)
講座名	③簡単!画像加工
日時	5/15、5/22、5/29 日曜(全3回) 13:30～15:30
内容	フリーソフト「GIMP」を活用した写真の修整・加工方法を学ぶ
対象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受講料	3,500円(テキスト代込み)
申込期間	4月30日(必着)
講座名	④Excel応用「関数」講座
日時	7/1、7/8、7/15、7/22 金曜(全4回) 19:00～21:00
内容	集計作業をテーマにテーブルやVlookup、Match等の関数の学習
対象	Excelの基本操作ができる方(簡単な関数や計算式を用いて表作成ができる)
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	5月2日～6月20日(必着)

講座名	⑤やさしいエクセル
日時	7/3、7/10、7/17、7/24 日曜(全4回) 13:30～15:30
内容	Excelの基本操作から簡単な関数の使い方まで丁寧に学ぶ
対象	文字入力ができる方
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	5月2日から6月20日(必着)

パソコンサロン

初めてパソコンに触れる方やパソコン操作に自信のない方を対象に、パソコンを無料開放します。会場には、ICTボランティアがおりますので、お気軽にご利用ください。

日時 4月3日、10日、17日、24日
6月5日、12日、19日、26日

8月7日、21日、28日
偶数月の日曜(8/14は休み)

午後1時半～4時半(時間内出入り自由)

申込 不要(無料)
※パソコンの開放台数は20台

※パソコンの持込みはご遠慮ください。

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

令和4年度共催団体募集! 【市民活動団体等成果発表事業】

皆さんの日頃の活動成果を、まちづくり市民交流プラザとの共催事業としてPRしてみませんか?

展示、上映、講演会など、表現方法は工夫次第です。団体のPRや会員の募集などにお役立てください。

実施時期 令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)中

実施場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)研修室、ギャラリー、マルチメディアスタジオなど

団体条件 原則として、広島市内を主な活動場所とし、まちづくりや生涯学習、ボランティアなどの活動に関わる市民団体、NPO法人等(個人での活動、営利団体、特定の政治や宗教にかかわる団体は除く)

実施条件 次の条件のすべてを満たす事業であること①市民活動及びまちづくり活動の振興に寄与し、プラザの施設及び付属設備を活用して団体等が主体的に企画・実施する事業②先進性、モデル性がある事業③広い範囲で公益性がある事業④複数の団体や行政機

関、企業等の社会貢献活動等と連携して実施する事業⑤経費など事業計画に無理がない事業

申込方法 所定の申請書に必要事項を記入のうえ、団体の概要がわかる資料、事業計画書・事業予算書等(様式自由)を添えて、原則、開催予定日の2ヶ月前までにプラザまで来館によりお申し込みください。

※1団体につき1事業
※審査の結果、共催事業として開催できない場合もあります。

申込期限 令和5年1月31日(火)

令和4年度「まちづくり市民交流フェスタ」開催日決定!

ボランティアやまちづくり生涯学習など市民活動に取り組んでいる団体・グループやまちづくりボランティア人材バンクの登録者の活動紹介・成果発表の場として「まちづくり市民交流フェスタ」を令和4年11月19日(土)・20日(日)に開催します。

これに先立ち、フェスタに参加する団体・グループを6月頃(予定)に募集します。フェスタに参加して、自分たちの活動のPRや他の団体・グループとのネットワークをひろげませんか。

※詳細については、決定次第当プラザホームページにて公開します。



▲展示・体験コーナーの様子

「プラザ主催事業のご案内」に関する申込・お問合せは・・・

広島市まちづくり市民交流プラザ

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号(合人社ウエンディひと・まちプラザ)
☎082-545-3911 ☎082-545-3838

新型コロナウイルス感染症予防等についてお願い

- 受講時はマスクの着用(咳エチケット)をお願いします。
- 開催日に咳や発熱があるなど体調不良の方、開催日から過去2週間以内に発熱やせせげ症状で受診や服薬などをした方は参加を控えてください。



パソコン講座 (ICT学習支援団体との連携事業)

ICT学習支援3団体の協力のもと、年間10～15講座(3年度は計14講座)を開講しています。パソコン初心者のためのWord・Excelの基礎講座からビジネスマンにも役立つ関数やマクロを扱う講座など、来年度も幅広いテーマを取り上げて実施する予定です。開催に向けて、各団体でオリジナルのテキストを作成しており、アプリの仕様変更等にあわせて、常にアップデートを続けています。講座前には事前研修を行い、たくさんの準備とおして皆さんをお迎えます。親切丁寧なサポートのもと、パソコン学習にトライしましょう!



▲パソコン講座の様子

パソコンサロン (ICT個人学習支援)

大型連休や年末年始を除く、偶数月の毎週日曜13:30～16:30に開催しています。始めてパソコンに触れる方やパソコン操作に自信のない方でも気軽にご参加いただけるよう、ICTボランティアが常駐しており、お困りごとには丁寧にお答えします。

また、定例のサロン以外にも、年2回ほど「パソコン体験会」を実施しています。ここでは、サロンの活動のほか、緊急連絡先カードやペーパークラフトの作成、ゲームコーナーの開設など、パソコンに気軽に触れて楽しく学んでいただける場を提供しています。

来年度こそは、たくさんの事業が安心して開催できるよう、一刻も早くコロナの猛威が落ち着きますように…

ご紹介した「パソコン講座」及び「パソコンサロン」の来年度の予定については、「情報の森」をご覧ください。

まちかどコンサート

「広島少年合唱隊が贈るクリスマスコンサート」を開催しました。

このコンサートは、日頃から市民グループ等で音楽活動に取り組んでいる方の発表の場を設けることで市民活動の活性を図ると同時に、市民の皆さまに気軽に来館いただき、市民交流や施設(市民交流プラザ)利用のきっかけを作ることを目的として開催しております。

また、中区役所の事業である「花と緑と音楽」を連携させたイベント「なかちゃん音楽の輪」との共催事業でもあります。例年、南棟1Fロビーにて開催(年4回)していましたが、コロナ禍以降は、感染対策の面から定員を設け、北棟6Fマルチメディアスタジオに場を移して開催しています。

さて、今回出演いただきましたのは、広島少年合唱隊の皆様です。昭和35年(1960年)に「少年の持つ歌声をのぼし、音楽を通して平和都市広島の街づくりに役立ちたい」という目



▲コンサートの様子

的誕生し、昨年、創立62周年を迎えた団体です。毎週土曜日に小学1年生から高校生まで約30名のメンバーが集まって、練習に励んでおられます。声変わりをした中高生たちが低音パートを受け持つ、「男子だけの混声合唱」は全国でもめずらしい取り組みだそうです。

披露いただいた曲は、「赤鼻のトナカイ」・「ジングルベル」を含めた全11曲です。ジングルベルの曲の入りでは、シャン♪シャン♪シャン♪と鳴る鈴の音が幻想的な雰囲気を作る中で少年たちの美しい歌声へと繋がり、聴いていてとても心地良いものでした。聞き手の皆さまの楽しそうな表情より、一足早いクリスマスプレゼントをお届けできたと感じ、うれしく思います。

感染症対策としてマスク着用の中での難しい披露だったと思いますが、美しい歌声を届けていただいた広島少年合唱隊の皆様には主催者として心より感謝申し上げます。

募集しています!

「らしく『情報の森』」に載せてほしい!という、イベントなどの記事を募集しています。次号は、「7月下旬発行予定」です。8月以降の情報をお待ちしています。下記、発行者までお送りください。[5月末日必着]

合人社ウエンディひと・まちプラザ (広島市まちづくり市民交流プラザ)

●開館時間
午前9時30分～午後10時

●休館日
毎月第3月曜日、12月29日～1月3日

●交通アクセス
市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分

●ホームページ
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>

●E-mail
m-plaza@cf.city.hiroshima.jp



プラザHP

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす利用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

〒730-0036 広島市中区袋町6-36

TEL: 082 (545) 3911 (代表)

TEL: 082 (545) 3913 (施設予約受付専用)

FAX: 082 (545) 3838

